

科目	(旧カリ)日常生活環境学(OT)	担当	藤田 高史	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

**【授業目標・到達目標】**

日常生活環境学では、各疾患(片麻痺・脊髄損傷・整形疾患・発達障害児)を持った本人と高齢者を取り巻く「生活環境」の観点から講義する。日常生活活動学と日常生活活動学実習で修得した各疾患の日常生活活動障害、支援方法の知識を基盤として、受講者は、さらに日常生活環境の理解とその知識を修得することを目標とする。

**【履修注意】**

適宜、講義の中でグループ討論の時間を設けるので、積極的かつ活発な意見交換を望む。また、工作が入る講義がある時は体操着を用意されたい。

**【評価方法】**

提出課題内容、グループ討論課題内容にて評価する。

**【試験について】**

中間試験は実施しない。

再試験対象者の条件:出席日数を満たし、期末本評定が60点未満の者

**【予習・復習】**

講義毎の復習を十分に行ない、理解できなかった部分については、次の講義で積極的に質問すること。

**【教科書】**

書籍名:「生活環境論」第6版 著者:木村哲彦(監修) 出版社:医歯薬出版

書籍名:「福祉用具ハンドブック」著者:尋木佐一・他(監修) 出版社:大井企画

**【参考書】**

適宜紹介する

**【その他の注意事項】**

藤田、三田、矢崎化工の講義曜日は別になる時がある。その際は事前に連絡する。

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	日常生活環境とは(藤田)	物的環境・人的環境・生活と障害・環境と障害・バリアフリー
2	日常生活活動と日常生活環境(藤田)	心身機能低下・環境弊害・住環境改善(住宅改修基礎知識)
3	車いす移動に適した住宅(藤田)	車いす住宅(居室・寝室・浴室・トイレ)・チェックポイント
4	杖・松葉杖歩行に適した住宅(藤田)	通行幅員・杖住宅(居室・寝室・浴室・トイレ)・チェックポイント
5	日常生活環境調査1(三田)	調査時期・調査方法
6	日常生活環境調査2(三田)	問題点の抽出・改善計画の立案
7	発達障害と日常生活環境(三田)	発達障害児(者)の障害特性・玄関・居室・トイレ・浴室
8	重度心身障害と日常生活環境(三田)	重度心身障害の障害特性・玄関・居室・トイレ・浴室・症例提示
9	住環境向上に役立つ福祉機器1(矢崎化工)	段差解消・手すり設置に必要な知識と住環境向上に役立つ福祉機器について学ぶ
10	住環境向上に役立つ福祉機器2(矢崎化工)	住環境向上に役立つ福祉機器を作製する
11	脊髄損傷者・片麻痺者・虚弱高齢者と日常生活環境1(藤田)	1~14回までは各疾患の特性に適合した玄関・居室・トイレ・浴室の生活環境整備についてグループ討議を行う。
12	脊髄損傷者・片麻痺者・虚弱高齢者と日常生活環境2(藤田)	1~14回までは各疾患の特性に適合した玄関・居室・トイレ・浴室の生活環境整備についてグループ討議を行う。
13	脊髄損傷者・片麻痺者・虚弱高齢者と日常生活環境3(藤田)	1~14回までは各疾患の特性に適合した玄関・居室・トイレ・浴室の生活環境整備についてグループ討議を行う。
14	脊髄損傷者・片麻痺者・虚弱高齢者と日常生活環境4(藤田)	1~14回までは各疾患の特性に適合した玄関・居室・トイレ・浴室の生活環境整備についてグループ討議を行う。
15	発表(藤田)	グループ発表会・総括
16	期末試験	15回の確認